

山地災害危険地区等における治山対策【農林水産省】

事業概要 土石流等の山地災害等リスクが高い山地災害危険地区約10,600地区(令和6年度末時点)において、森林の防災・保水機能を発揮させる治山施設の整備・強化等を実施

効果 流木・土石流・山腹崩壊の抑制が図られ、山地災害等から人家や公共施設等が保全

全国的な対策と効果

対策1 荒廃した溪流など土石流発生のおそれがある地区において、治山ダム等を設置(土石流・荒廃溪流対策)



対策2 不安定土砂や倒木等が堆積し、土石流・流木のおそれがある溪流において流木捕捉式治山ダムを設置(流木対策)



5か年加速化対策の効果

過去に大規模な浸水被害をもたらした大雨と治山対策後に同程度以上の降雨があった際の山地災害の被害額の変化

- ① 静岡県浜松市天竜区 【H30.7豪雨(209mm※1)】 被害額3.6億円 → 【R4.9大雨(282mm※2)】 被害額2.7億円 (約25%減)
- ② 長野県下伊那郡天龍村 【R2.7豪雨(239mm※3)】 被害額1.0億円 → 【R5.6大雨(246mm※4)】 被害額0.6億円 (約40%減)

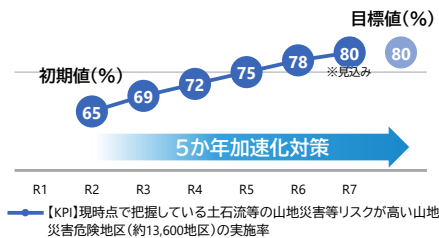
※1:平成30年7月4日から6日までの日雨量の合計 ※2:令和4年9月23日から25日までの日雨量の合計
 ※3:令和2年7月25日から26日までの日雨量の合計 ※4:令和5年6月2日から3日までの日雨量の合計

予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
461億円	306億円	256億円
R6	R7	累計
268億円	298億円	1,589億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

目標達成の見通し



効果発揮事例

治山ダムの整備により山腹崩壊を未然に防止し、下流域の鉄道や道路の安全を確保する

林野庁 東北森林管理局

秋田県湯沢市

復旧治山事業(峠の沢地区)

治山対策直後の状況(令和4年) ■ 崩壊防止機能発揮状況(令和6年)



事業費

0.76億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.76億円)

事業の背景(地域の課題)

秋田県湯沢市南部の国有林に位置する峠の沢は、直下に、秋田県と山形県をつなぐ重要な幹線であるJR奥羽本線と国道13号が並走しています。平成30年8月に発生した大雨により、当該溪流が荒廃し鉄道付近まで土砂が押し寄せました。このため、その後の大雨等により、新たな山腹崩壊や土砂流出が発生した場合には、鉄道や道路に被害を及ぼすおそれが高い状況でした。

事業の内容

山腹崩壊や土砂流出による鉄道や道路への被害を未然に防止・軽減するため、国有林直轄治山事業により治山ダムを設置しました。

効果

令和6年7月25日からの大雨により、秋田県湯沢市では平成30年8月の大雨の約2倍に相当する24時間雨量207mm、1時間最大雨量39mmを観測し、秋田県においては多数の山地災害が発生しましたが、治山ダムを設置した峠の沢においては、治山ダムが山脚固定機能*を発揮し、山腹崩壊による林地荒廃及び崩壊に伴う土砂流出による下流域の鉄道や道路への被害を未然に防止しました。同施設は、設置以降、施設上流側への堆砂による土砂流出抑制機能を発揮しており、今後も継続的に事前防災効果を発揮していく見込みです。

*山腹斜面の脚に当たる部分を固定して、崩壊の発生等を防止する機能

